

平成26年度各部門事業報告

○生涯研修

1. 歯科技工士生涯研修事業 公1 (ア)

医療技術者団体として生涯研修事業の充実に努めた。

- (1) 第59回北海道歯科技工学術大会・第141回北海道歯科技工学術研修会
第142回北海道歯科技工学術研修会・第143回北海道歯科技工学術研修会
平成26年度第1回北海道歯科技工技術研修会開催

①第59回北海道歯科技工学術大会 (日技生涯研修自由課程10単位)

日時：平成27年1月17日(土) 12:00～

場所：全日空ホテル

講演Ⅰ：『歯科界におけるチーム医療の在り方修復治療の変遷、そしてこれからの歯科治療』

クワタカレッジ 校長 桑田 正博

講演Ⅱ：『総義歯臨床のガイドラインと根拠』

佐藤補綴研究室 佐藤 幸司

講演Ⅲ：『歯科医療従事者における経営センスの磨き方』

小樽商科大学商学科 准教授 加藤 敬太

参加者：会員 171名、未入会員 28名、一般(学生含む) 118名 計 317名

②第141回北海道歯科技工学術研修会 (日技生涯研修基本課程5単位)

日時：平成26年7月12日(土) 13:00～

場所：函館国際ホテル

講演Ⅰ：『見える話・ワンポイント講座(1)～歯科技工における手話～』

公益社団法人北海道歯科技工士会 理事 工藤三重子

講演Ⅱ：『平成26年度診療報酬改定の概要と先進医療の保険導入について』

公益社団法人北海道歯科技工士会 常務理事 戸島 和之

講演Ⅲ：『CAD/CAM (G C A a d v a システム) と CAD/CAM 用ハイブリッドレジンプロック』

株式会社 ジーシー 曾我部元尚

参加者：会員 31名、未入会員 0名、一般 0名 計 31名

③第142回北海道歯科技工学術研修会 (日技生涯研修自由課程4単位)

日時：平成26年11月1日(土) 13:00～

場所：釧路市生涯学習センターまなぼと

講演Ⅰ：『見える話・ワンポイント講座(2)～歯科技工における手話～』

公益社団法人北海道歯科技工士会 理事 工藤三重子

講演Ⅱ：『平成26年度診療報酬改定の概要と先進医療の保険導入について』

公益社団法人北海道歯科技工士会 常務理事 戸島 和之

講演Ⅲ：『明日からできる！CAD/CAM臨床』

株式会社キュステデザイン 代表取締役 濱本 範俊

参加者：会員 54名、未入会員 2名、一般 3名 計 59名

④第1回北海道歯科技工技術研修会

日時：平成27年1月24日(土)

場所：公益社団法人北海道歯科技工士会館

講演：『怒り・イライラのコントロール術を身につけよう ―アンガーマネージメントでストレスレスに―』

PlusM (プラスエム) 長谷川 久美子

⑤第143回北海道歯科技工学術研修会

日時：平成27年2月28日(土)

場所：旭川グランドホテル

講演Ⅰ：『見える話・ワンポイント講座(1)～歯科技工における手話』

公益社団法人北海道歯科技工士会 理事 工藤 三重子

講演Ⅱ：『平成26年度診療報酬改定の概要と先進医療の保険導入について』

公益社団法人北海道歯科技工士会 理事 戸島 和之

講演Ⅲ：『歯科技工士はモノづくり医療人』

有限会社デンタルセラミックアート 鎌田 英樹

講演Ⅳ：『高齢化に伴う有床義歯臨床の展開とは？』

前北海道大学歯科センター診療教授 野谷 健治

参加者：会員 53名、未入会員 6名、一般 0名 計 59名

(2) 第1回ブロック学術委員会開催

日時：平成26年9月27日(土)

会場：北海道歯科技工士会館(1F会議室)

出席者：各ブロック長とブロック長所属支部会の学術担当理事

議題：①平成27年度学術大会並びに学術研修会、技術研修会開催について

②学術大会及び学術研修会、技術研修会の各種経費について

③学術大会・学術研修会講師選定について

④日技生涯研修単位取得について

⑤北海道歯科技工士障害者研修事業について

⑥その他

2. 障がい者歯科技工士研修事業 公1(イ)

聴覚障がいをもつ歯科技工士の自己研鑽および情報保障の充実について寄与した。

(1) 第1回北海道障がい者歯科技工士研修会(第141回北海道歯科技工学術研修会と同時)

日時：平成26年7月12日(土) 13:00~

場所：函館国際ホテル

講演Ⅰ：『見える話・ワンポイント講座(1)~歯科技工における手話~』

公益社団法人北海道歯科技工士会 理事 工藤三重子

講演Ⅱ：『平成26年度診療報酬改定の概要と先進医療の保険導入について』

公益社団法人北海道歯科技工士会 常務理事 戸島 和之

講演Ⅲ：『CAD/CAM(GC A a d v a システム)とCAD/CAM用ハイブリッドレジンプロック』

株式会社 ジーシー 曾我部元尚

参加者：2名

(2) 第2回北海道障がい者歯科技工士研修会(第142回北海道歯科技工学術研修会と同時)

日時：平成26年11月1日(土) 13:00~

場所：釧路市生涯学習センターまなぼと

講演Ⅰ：『見える話・ワンポイント講座(2)~歯科技工における手話~』

公益社団法人北海道歯科技工士会 理事 工藤三重子

講演Ⅱ：『平成26年度診療報酬改定の概要と先進医療の保険導入について』

公益社団法人北海道歯科技工士会 常務理事 戸島 和之

講演Ⅲ：『明日からできる!CAD/CAM臨床』

株式会社キュステデザイン 代表取締役 濱本 範俊

講演Ⅳ：『歯科技工士の希望に満ちた明日を目指して』

公益社団法人北海道歯科技工士会 会長 杉岡 範明

参加者：3名

(3) 第3回北海道障がい者歯科技工士研修会(実技による研修会)

日時：平成26年11月9日(土)

場所：吉田学園医療歯科専門学校

講演Ⅰ：『メタルプレートの設計からワックスアップの実習』

デントウラム社 インストラクター 松平 浩

参加者：4名

(4) 歯科技工用語手話研修会①「見える話~歯科技工における手話~」

日時：平成27年1月18日(日) 10時~12時

場 所：北海道歯科技工士会館

主 催：公益社団法人北海道歯科技工士会

協 力：北海道デフ歯科技工士協議会

対象者：歯科技工士をはじめとした歯科関係者・及び手話通訳者

内 容：簡単な手話表現（専門用語）、実技を含めたもの。

詳細検討中→ 画像・動画の活用

案 内：道歯会報、歯科衛生士会

北海道ろうあ連盟（手話通訳派遣依頼先）、北海道手話通訳研究会

参加者：12名

3. 優秀発表および論文表彰事業 公1（ウ）

学術大会で発表された演題、及び広報誌に掲載された論文等から優秀なものを選考し表彰した。

- (1) 広報誌掲載優秀論文の表彰
- (2) 学業優秀学生の表彰
- (3) 副賞の授与

○広報

1. 歯科医療及び口腔保健等の情報発信事業 公1（オ）

組織機関紙としての使命を果たすべく有用な紙面作りに徹すると同時に、本会に関わる情報・資料収集を迅速に行い、ホームページ等を利用し会員との情報共有につとめた。

- (1) 『道歯技広報』第1号、2号、3号を発行した。
- (2) 各号に学術大会における研究発表などを掲載し、学術紙面の充実を図った。
- (3) 公益法人にむけて一般市民用コンテンツを掲載した。
- (4) ホームページ等を活用し、公益法人にむけての道歯活動を内外に開示した。
- (5) ホームページから、『道歯技広報』をダウンロードできるように設定した。

○受託歯科技工

1. 歯科技工所の管理に関する事業 公1（エ）

診療報酬・CAD/CAM冠導入・消費税等に関して、正確な情報の普及啓蒙活動を行った。

- (1) 6月、7月札幌にて「CAD/CAM冠導入セミナー」を行った。
- (2) 第141回函館、第142回釧路、第143回旭川にて行われた北海道歯科技工学術研修会において平成26年度診療報酬改定の概要と先進医療の保険導入について正確な情報の普及活動を行った。
- (3) 「厚生労働大臣告示」遵守文章を発翰した。

○総務

1. 歯科技工指示書等の販売事業 収1

「歯科補てつ物等の作成及び品質管理指針」に則った歯科技工指示書（道歯版）を販売した。（317冊）

2. 離島歯科診療班派遣事業への協力事業 公1（カ）

歯科医療機関がない離島等の歯科医療を確保するために歯科技工士を派遣協力した。

平成26年度離島歯科診療班派遣事業

1班（平成26年6月28日～7月5日）

2班（平成26年11月1日～11月8日）

3班（平成27年1月31日～2月7日）

★焼尻島

1班（平成26年7月5日～7月12日）

2班（平成26年11月15日～11月22日）

3班（平成27年2月7日～2月14日）

3. 法人管理に関する事業 法人会計

公益社団法人としての使命を果たすための管理事業を行った。

- (1) 発翰・来翰文章、各種会議議事録等の管理・保管した。
- (2) 各種会議資料の制作・管理・保管した。
- (3) 備品台帳の管理を行った。
- (4) 事務用品・備品及びリース機材の管理を行った。
- (5) J m o t t o , N A S システム等のインターフェイスの管理運用を行った
- (6) 社員総会の厳正な運営を行った。

4. 会員管理に関する事業 法人会計

所属会員の適性な管理事務を行った。

- (1) 資格者会員台帳の管理を行った。
- (2) 事業所会員台帳の管理を行った。
- (3) 入退会者の手続業務を行った。

5. 会館管理に関する事業 法人会計

会館維持管理について事務を行った。

- (1) 各種納税事務（固定資産税・法人事業税）を行った。
- (2) 維持経費管理事務（火災保険費・水道光熱費・会館清掃費・通信費・プロバイダー費・郵送費等）を行った。

6. 福利厚生事業 他1 福利厚生事業

- (1) 慶弔制度等の管理運営を行った。

7. 叙勲等事業 他1 叙勲等事業

- (1) 平成26年度北海道社会貢献賞（優良医療職員）に関する事務を行った。

8. 周年事業 他1 周年事業

- (1) 平成27年度の周年事業に向けた準備を行った。

9. 各種団体との懇談事業 他1 各種団体との懇談事業

- (1) 平成26年度『観桜会』を実施した。

○財務

組織運営に関する財務事業 法人会計

組織運営に関する財務事務全般の管理を行った。

- (1) 会費納入状況の管理と未納会費の督促
- (2) 財務諸表の作成管理
- (3) 振替伝票・領収書の管理
- (4) 入金・出金の管理
- (5) 中間会計監査の実施
- (6) 会計ソフトの管理運用
- (7) 税理士事務所との対応
- (8) 財務運営マニュアルの作成

○法規

組織管理に関する法務事業 法人会計

組織管理に関する各種法規の作成・改訂と歯科技工士に関する法令の遵守、啓蒙活動を行う。

- (1) 定款の管理を行った。

- (2) 諸規程の管理を行った。役員選挙規程一部改正（案）を作成した。
- (3) 歯科技工士に関する各種法令遵守啓蒙をHPで行った。
- (4) 厚生労働行政通知の啓蒙活動をHPで行った。
- (5) 社員総会で選任された新監事の役員変更登記を行った。

○就労対策

1. 歯科技工士に係る就労環境改善事業 他1 環境整備事業

労働安全衛生の視点から歯科技工士の就労環境を改善し、もって歯科技工士の継続的な供給体制を確保して、医療消費者たる国民の安心をもたらす。

- (1) 就労歯科技工士のアンケート調査を行った。
- (2) 就労対策委員会を開催し退会理由等を検討した。

2. 歯科技工士学生に係る啓発事業 他1 環境整備事業

歯科技工士を志す歯科技工士学生に就職にあたっての歯科技工界の現状と社会人としてのマナーを啓蒙するとともに、研修会等への参加を促す案内活動を実施した。

- (1) 「歯科技工ガイダンス」を開催した。

日 時：平成26年7月21日（月） 午後1時～5時

場 所：「札幌サンプラザ」 札幌市北区北24条西5丁目

参加数：103名

講 師：【基調講演】公益社団法人北海道歯科技工士会 副会長 嘉村 正 氏

演題：「歯科技工士会の役割」

【講演1】長谷川久美子 氏

演題：「就職活動に向けてのマナーと心構え」

【講演2】本田拓也 氏（札幌デンタル勤務）

演題：「歯科技工士になる皆さんへ」

- (2) 歯科技工士学生に歯科技工士会の活動を知ってもらうとともに、医療職種として国民への安心と貢献を啓蒙するために、引き続き友の会会員の入会を促し、全学生が入会した。研修会の案内の公示については、各学校へ開催案内を送付するとともに、参加を依頼した。

3. 組織拡充事業 他1 環境整備事業

- (1) 卒後3年以内、女性会員の会費半額制度が無効となることから、対応策を施行した。
- (2) 退会者および、未入会員への対策として無料参加券・体験会員証の制度を継続した。
- (3) 会員カードの作成を促すため、作成状況を地域歯科技工士会に送付した。
- (4) 日技組織拡充支援金制度の対象拡充に対応した。

4. 雇用機会均等改善事業 他1 環境整備事業

- (1) 女性会員を対象とした「LILAC」から雇用機会均等にかなう構成に変更し「LILAC」を発行した。